

2021 年度 事業報告書
(令和 3 年度)

学校法人 関西大倉学園

2021(令和3年)年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 基本情報

① 法人の名称

学校法人関西大倉学園

② 住所

〒567-0052 大阪府茨木市室山二丁目14番1号

TEL 072-643-6321

FAX 072-643-8375

ホームページ <http://w.w.w.kankura.jp/>

(2) 教育方針等

・教育理念

全校一致のもと、誠実でやさしさと活力あふれる人間を形成する。

・教育目標

- ① 一人一人の個性・才能を生かし、知力・体力を育成する。
- ② 自ら考え、責任ある行動がとれる人間を育成する。
- ③ 誠実で品性の高い教養あのある人間を育成する。
- ④ 男女・民族・言葉の違いを越え、互いの人権を尊重し、平和を願う人間を育成する。
- ⑤ 自然に親しみ、自然とともに生きることが大切だと思える心を育成する。

・教育方針

教育目標を達成するため、日々の活動において真摯かつ厳格な態度で実践する。

(3) 学校法人の沿革

(関西商工学校・関西商業学校)

1902(明治35)年	10月	大阪市北区堂島浜通2丁目にて社団法人「関西商工学校」創立 (創立者 平賀義美先生他)
1905(明治38)年	8月	現大阪市北区大淀南2-2へ校舎新築移転
1941(昭和16)年	4月	商業科を独立させ「関西商業学校」併設
1944(昭和19)年	4月	戦時非常措置により「関西商業学校」を「大淀工業学校」に改称
1946(昭和21)年	4月	「関西商業学校」と「大淀工業学校」合併し「関西商工学校」に改称
1948(昭和23)年	4月	「関西商工学校」を新制「関西実業高等学校」に改称し中学校を併設

(大阪大倉商業学校)

- 1907(明治 40)年 4月 財団法人「大阪大倉商業学校」設立(創立者大倉喜八郎)
1948(昭和 23)年 4月 新制「大阪大倉商業高等学校」に改称し中学校を併設

(関西大倉高等学校)

- 1948(昭和 23)年 9月 「関西実業高等学校」「同中学校」、「大阪大倉商業高等学校」「同中学校」
合併し、「関西大倉高等学校」「関西大倉中学校」として発足、全日制、定
時制ともに商業・電気・土木 3 学科設置
- 1949(昭和 24)年 4月 全日制普通科設置
- 1963(昭和 38)年 3月 現所在地(大阪府茨木市室山 2-14-1)に校舎新築移転
- 1964(昭和 38)年 2月 1 号館竣工
- 1967(昭和 42)年 11月 第 2 グラウンド完工
- 1972(昭和 47)年 1月 全教室にテレビを設置
3月 6 号館(芸術棟)、8 号館(柔道場・剣道場)竣工
- 1974(昭和 49)年 4月 中学校募集停止
- 1975(昭和 50)年 4月 普通科のみ募集
- 1984(昭和 59)年 6月 大倉喜八郎翁創設の韓国ソウル市の現善隣インターネット高等学校・同門会と
関西大倉高等学校・同窓会がそれぞれ親善交流開始
- 1991(平成 3)年 10月 沈砂池・テニスコート完成
- 1992(平成 4)年 6月 全校舎にエアコン設置
- 1994(平成 6)年 4月 関西大倉中学校再開
11月 創立 90 周年記念ホール(ハイブリッドホール)完成
- 1997(平成 9)年 3月 9 号棟(中学棟:(現)本部棟)竣工
4月 中学校女子入学し中学校男女共学開始
- 2000(平成 12)年 4月 国際コース設置・女子入学し、高等学校男女共学開始
- 2001(平成 13)年 3月 0 号棟(高校棟:(現)中学棟)竣工
- 2007(平成 19)年 4月 国際コース募集停止。特進コース・総合コースに女子入学
- 2009(平成 21)年 11月 創立 100 周年記念新体育館完成
- 2020(令和 2)年 7月 新高校棟完成
- 2022(令和 4)年 1月 共用棟完成

(4)設置する学校・学部・学科等

- ① 関西大倉高等学校 全日制 普通科
② 関西大倉中学校

(5)学校・学部・学科等の学生数の状況

(2021 年 5 月 1 日現在)

学校名	募集定員	入学者数	学則定員	現員数
関西大倉高等学校 普通科 (うち内部進学者)	495 名 (140 名)	637 名 (102 名)	1,800 名 (420 名)	1,636 名 (317 名)
関西大倉中学校	140 名	137 名	480 名	399 名

(6) 学則定員充足率

(毎年度 5 月 1 日現在)

学校名	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度
関西大倉高等学校	90.9%	82.7%	80.0%	81.3%	86.7%
関西大倉中学校	83.1%	78.5%	67.3%	75.0%	82.9%

(7) 校地・校舎

- ① 所在 大阪府茨木市室山2丁目14番1号
 ② 校地 73,072 m² (公簿面積)
 ③ 校舎 24,990 m² (延べ床面積)

(8) 役員概要 (2022 年 5 月 28 日現在)

1) 理事及び監事の状況

- ・理事: 定員数 6名以上～12名以内 現員数 10名
 ・監事: 定員数 2名 現員数 2名

	氏名	就任年月日	業務執行の状況	主な現職等
理 事	倉田 薫	2013/4/1	常勤、業務執行	理事長
	古川 英明	2019/4/1	常勤、業務執行	常務理事 関西大倉中学・高等学校長
	大倉 喜彦	2003/4/1	非常勤、非業務執行	民間企業 代表取締役
	土井 亨	2012/4/1	非常勤、非業務執行	民間企業 終身客員
	高寺 清	2003/4/1	非常勤、非業務執行	民間企業 代表取締役
	宮前 孝雄	2018/6/1	非常勤、非業務執行	教育機関 常勤講師
	北川 智司	2019/4/1	非常勤、非業務執行	金融機関 常勤監査役
	岸本 光生	2019/4/1	非常勤、非業務執行	民間企業 代表取締役
	佐久間 崇好	2019/4/1	常勤、業務執行	関西大倉中学・高等学校 教頭
	平井 聡好	2020/4/1	常勤、業務執行	関西大倉中学・高等学校 教頭
監 事	清水 信昭	2004/4/1	非常勤、非業務執行	関西大倉同窓会 事務局長
	林 浩志	20011/6/1	非常勤、非業務執行	税理士

1) 責任の一部免除の概要

当学園は、役員が任務を怠ったことによって生じた損害について、寄附行為第 43 条及び、私立学校法第 44 条の 5 が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 113 条の賠償責任を限度として理事会の決議によって免除することができます。

2) 責任限定契約の内容の概要

当学園は、各非業務執行理事および各監事との間で、私立学校法第 44 条の 5 が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 115 条第 1 項の賠償責任を限度とする契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任限度額は、法令に定める最低責任限度額であります。

3) 補償契約の内容の概要

当学園は、各非業務執行理事および各監事との間で、私立学校法第 44 条の 5 が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 118 条の 2 の規定に基づき、非業務執行理事等に対して費用等の全部又は一部を当学園が補償することについて契約を締結しております。

4) 役員賠償責任保険の内容の概要

当学園は、私立学校法第 44 条の 5 が準用する一般社団法人・財団法人法第 118 条の 3 の規定に基づき、役員等がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を補填する目的で役員損害賠償保険契約を締結しております。

(9) 評議員の概要(2022年5月28日現在)

・評議員：定員数 13 名以上～25 名以内

現員数 23 名

氏名		就任年月日	主な現職等
倉田 薫	学外	1999/9/7	理事長
古川 英明	学内	2019/4/1	常務理事 関西大倉中学・高等学校長
大倉 喜彦	学外	2000/3/27	民間企業 代表取締役
土井 亨	学外	2011/6/1	民間企業 終身客員
高寺 清	学外	2001/3/2	民間企業 代表取締役
宮前 孝雄	学外	2018/6/1	教育機関 常勤講師
北川 智司	学外	2013/4/1	金鷲鷲期間 常勤監査役
岸本 光生	学外	2016/4/1	民間企業 代表取締役
佐久間 崇好	学内	2019/4/1	関西大倉中学・高等学校 教頭
平井 聡好	学内	2020/4/1	関西大倉中学・高等学校 教頭
土方 正英	学外	2006/4/1	民間企業 相談役
合田 順一	学外	2015/4/1	民間企業 代表取締役
島村 和臣	学外	2013/4/1	関西大倉同窓会 副会長
恩庄 康之	学外	2017/4/1	民間企業 代表取締役
木村 正宏	学外	2019/4/1	一級建築士
松本 光男	学内	2012/4/1	関西大倉同窓会 副会長
荻野 数馬	学外	2019/6/1	弁護士
佐々野 雅雄	学内	2019/6/1	関西大倉学園 事務長
八木 裕	学外	2021/4/1	プロ野球解説者 野球指導者
富田 忠泰	学外	2021/4/1	大阪府議会議員
萬野 博子	学外	2021/4/1	関西大倉育友会 理事
清水 尚子	学外	2021/4/1	歯科医院
河村 静也	学外	2022/4/1	落語家

(10) 教職員の概要 (2022年5月1日現在)

区分	人数	平均年齢
本務教員	69	43.3
兼務教員	70	45.0
本務職員	9	46.7
兼務職員	6	51.7
合計	154	44.2

2. 事業の概要

(1) 主な活動の概要

1) 学校評価の実施

自己評価及び学校関係者評価の実施(Web回答、アンケートに記述式を導入)、学校評価委員会の開催(2回)、結果公表を行いました。

2) 校舎等施設・改修工事实施

新校舎建設工事に関し、2020年7月の新高校棟に続き、2022年1月に共用棟が完成。それに合わせて、図書館、保健室、家庭科実習室、理科実験室、及び情報処理実習室等の移転を行いました。その後、旧3号棟の解体工事の後、外構整備を行い7月末に竣工予定です。その他、2021年12月に第1グラウンドの土壌改良を実施、2022年3月末現在、バスターミナルの移転工事等行っております。

3) 自然環境整備

学園の枯れ木の伐採や下草刈りなど山林整備を「里山サポートネット茨木」の協力を得て実施しておりますが、今年度は天候不順及びコロナ禍の影響による活動自粛もあり年間8回実施しております。

4) 教育活動

① 教職員の研修

- ・ハラスメントに関する研修会 4月1日 弁護士 荻野 数馬 先生より講演
- ・熱中症対策 研修ビデオ視聴(コロナ禍の為)
- ・評価に関する講演 11月25日 リクルート 山下真司 氏

② 教育力の向上

- ・授業参観(中学1回、高校1回実施)(コロナ禍の為実施回数を削減)
- ・授業の公開、生徒による授業評価実施
- ・教科別重点取り組み

国語…論理演習の強化、読書時間の確保、聞き取り授業、弁論大会(中学)、漢字検定、読書家、作家の時間の取り組み

数学…習熟度別授業

英語…英語検定、補習授業の強化、グローバル感覚の習得、語学習得意欲の高揚

理科…理系志向の醸成に向けた実験授業の定着(中学3年生)

情報…プレゼンテーションコンテストを通じたICT活用力の強化

<学校行事>

中学:体育祭、芸術祭、弁論大会、遠足、オリエンテーション

サマースクール(奈良→茨木勝尾寺に変更)

修学旅行(目的地の屋久島は和歌山に方面変更)

高校:遠足、体育祭(コロナ禍の為学年別での時差実施)、文化祭(コロナ禍の為WEB開催)

高1:ロードレース大会

高2:ダンス発表会、修学旅行(八重山諸島→長島スパワールドに変更)

※以下の行事はコロナ禍の為見合わせ

中学:芸術鑑賞、テーブルマナー、林間学舎、スキー実習、社会見学

高1:生徒と留学生との交流会

高3:バスケットボール大会

③六貫教育の推進

・ICT活用の教育、校内弁論大会などの充実

※以下の行事はコロナ禍の為見合わせ

・農作業体験、地域交流として田植え・稲刈り体験(中学1年)、職業体験(中学3年)

④生徒指導の強化

・道徳教育、保護者との連携

・カウンセリング、中学道徳教育の充実

・いじめ撲滅に向けて指導強化…学校生活アンケート実施(年2回)

⑤グローバル教育の推進

ONLINEでの海外交流プログラム実施

※以下コロナ禍の為すべて実施見合わせ

・六貫高1生対象 :ニュージーランド ホームステイ

アッパーハットカレッジ・タイタカレッジ

・高1・高2生対象海外語学研修(Harrow School)

・教育基金グローバル支援報告会の実施(11月)

・善隣インターネット高校訪問(8月)、受け入れ(2月)

5)受験者確保にむけた入試対策

①中学入試

・ミニオープンキャンパス『かんくら山で春を感じよう!』:3/27(土)

・オープンキャンパス『関倉体験』:7/24(土)

・学校・入試説明会 :6/26(土)×2・6/27(土)・7/4(土)・7/11(土)・7/18(土)・

9/4(土)・10/9(土)・11/7(日)、1/18(火) C日程中開催

*長期休暇中や休日に、小規模学校見学会、個別見学を実施

・プレテスト:11/7(日)

プレテスト解説会 :11/13(土)で保護者向け(プレテスト結果概況、受験へのアドバイス、懇談)

・感染症対応入試への対応

②高校入試

・高校入試説明会 4×2 回の開催

10/23(土)・10/30(土)・11/13(土)・11/27(土)

*希望が多いため、11/20(土)追加開催

*長期休暇中や休日に、小規模学校見学会を実施

ホームページの充実更新

・感染症等対応入試への対応

・検定資格所持者に対する優遇制度

6) 進路実績 (合格者数推移)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	前年比増減
国立大学	130 名	121 名	110 名	△11 名
公立大学	60 名	61 名	56 名	△ 5 名
大学校	2 名	3 名	3 名	-名

国公立大学全体合格者数推移

2020 年度		2021 年度		2022 年度		前年比増減	
合格者数	現役内数	合格者数	現役内数	合格者数	現役内数	合格者数	現役内数
190 名	135 名	182 名	145 名	166 名	115 名	△16 名	△30 名

難関国公立大学合格者数推移

	2020 年度		2021 年度		2022 年度	
	合格者数	現役内数	合格者数	現役内数	合格者数	現役内数
東京大学	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
京都大学	5 名	1 名	4 名	2 名	10 名	6 名
大阪大学	19 名	11 名	16 名	11 名	12 名	6 名
神戸大学	14 名	11 名	17 名	12 名	11 名	8 名
北海道大学	3 名	1 名	3 名	3 名	1 名	1 名
東京工業大学	0 名	0 名	1 名	1 名	0 名	0 名
名古屋大学	0 名	0 名	2 名	2 名	2 名	2 名
東北大学	1 名	1 名	0 名	0 名	1 名	1 名
九州大学	0 名	0 名	0 名	0 名	2 名	0 名
国公立医学部医学科	0 名	0 名	7 名	2 名	2 名	0 名

難関公立・私立大学合格者数推移

	2020 年度		2021 年度		2022 年度	
	合格者数	現役内数	合格者数	現役内数	合格者数	現役内数
大阪市立大学	10 名	7 名	6 名	5 名	17 名	16 名
大阪府立大学	15 名	14 名	12 名	11 名	(大阪公立)	(大阪公立)
国公立大学(近畿圏)	138 名	104 名	120 名	93 名	116 名	84 名
関関同立	447 名	302 名	357 名	251 名	417 名	286 名
早稲田・慶応	8 名	2 名	3 名	3 名	6 名	1 名
その他私立大学	1,377 名	978 名	915 名	605 名	881 名	612 名

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

ヒト・モノ・カネが自由に国境を越えて行き来するグローバルな波は、急速に進展し、社会も急激に変化してきている。その変化に対応する力は、学校生活から培われるもので、中でもコミュニケーション能力や協調性は、家庭だけにとどまらず、学校生活におけるクラスやクラブ活動の中で養われていくものである。単に、グローバル化に対応するだけではなく、グローバル（地域・社会への貢献、人との結びつき、人と人との信頼関係）をも重視する必要がある。グローバルな人材とは、所謂、海外との橋渡し役や地域企業の海外進出を担い、世界に通用する能力をもった人材をさし、中等教育はそれらの力を養う上で、非常に重要な機関であり期間である。よってこれらに対応できるカリキュラムやプログラムを設定していかなければならない。その上で、急激な社会の変化に対応する力を身につけ、自分の進路を自分の力で開き、生徒自身が自己を律し、自立できる力をつけることを目標とする。

また、2015 年 9 月国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2030 年までの国際目標“SDGs”に賛同し、教育目標としたい。

ICT教育、グローバル化に対応し、生徒一人ひとりの自主性を尊重し、生徒の可能性と個性を伸ばす教育を実践するため、タブレットを活用し、教育の拡充を行う。

「徳育」を教育の中核に据え、知・徳・体のバランスある人格を備えた、自律、自立できる人間力豊かな生徒を育成する。

< 中期的目標 >

1 疑問(なぜ)から納得(なるほど)へと学びの質の変化に対応した学力の育成を図る。 本校の生徒実態を踏まえた授業改善に組織的・計画的に取り組む。		
中期計画	重点目標・取り組み内容	評価指数・自己評価
ア わかる授業、充実した授業及び創造性を育成する授業の推進	本校の生徒実態を踏まえ、学習到達目標の点検を行う。各教科共通テストレベルは確実にこなせるようにする。	生徒からの授業内容の信頼についての肯定評価が 60%を下回っているため、改善の必要がある。共通テストは本試験平均と比べて本校平均が昨年比1~9ポイントとダウンした。テスト自体の難化の影響もあった。
イ ICTを活用する教員の割合を順次増やし、授業時にタブレットを導入し、授業水準の高度化を行う。	タブレットの活用例を共有し、教員間での ICT 教育に関するコミュニケーションを高めていく	教職員、生徒ともアンケートから肯定評価が 80%以上と高かった。さらに評価を高めていけるよう内容を充実させていきたい。
ウ 探究学習として、学習に興味を持たせるため、自分が興味あることを調べ、発表させることでプレゼンテーション能力を高める取り組みを行う。	企業探究などの充実、授業時等でも発表の場を設けてプレゼン力の向上を図る。	本年度は、自己でテーマを決め、それについて発表を行っていき取り組みを行った。

2 夢と志を持つ生徒の育成に向けた指導計画の確立		
中期計画	重点目標・取り組み内容	評価指数・自己評価
ア 学年・進路指導部が軸となり、総合の時間の担当者とも連携し、3年間、または6年間を見通したキャリア教育を行う。	経年の学習成績を一つにまとめ、進路ノートを活用し学習指導・進路指導に役立てる。	進路指導項目のアンケートは70%程度の肯定評価。一人一人の進路についてより丁寧な指導ができるよう心掛けていきたい
イ 進路指導部主導の学問体感並びに外部講師を積極的に招くとともに、生徒による振り返り・発表の機会を増やす。	学問体感(国公立大学教員による出前授業)や教育機関からの大学進学に向けての講演を行う	学問体感はコロナ禍の為中止。卒業生や外部機関からの講師を招いて、進路講演を行った。
ウ 大学訪問を通して、生徒の進路への意識付けを行う。	夏休みや冬休みの期間を利用して大学訪問を計画し、レポートの提出等を行う	本年度はコロナ禍の為中止

<p>エ 学業と共に、行事や部活動を通して、自身の興味や関心を寄せるスポーツや学問、文化などに親しみ成長の糧とする。</p>	<p>学校行事の充実、学業と部活動の両立を行いやすい環境を整えていく。</p>	<p>学業と部活動の両立については生徒は80%に近い評価であるが、教職員では60%弱と低めの評価であった。更なる環境整備が必要である。</p>
--	---	---

<p>3 学校全体としてグローバル人材に必要とされる英語運用能力(リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの4技能)の育成に取り組み、グローバル社会に貢献できる人材を育成する。</p>		
<p>中期計画</p>	<p>重点目標・取り組み内容</p>	<p>評価指数・自己評価</p>
<p>ア 英語運用能力育成の為、資格習得の学習を促進する。</p>	<p>英語検定の資格取得率の向上を目指す。</p>	
<p>イ 他者共感能力・異文化理解能力・批判思考力・論理思考力などの力の育成する。</p>	<p>希望者を対象としてオンライン国際交流の導入、ディベート学習会を校内で実施する。</p>	<p>年間を通して、京都大学高大連携の野生動物初歩実習と、の8月にPBL国際交流と、12月に大阪大学留学生との交流をオンラインで実施した。</p>
<p>ウ グローバル人材を育成するプログラムを実施する。</p>	<p>本校との姉妹校である韓国善隣インターネット高校へのホームステイ希望者に対して、韓国語や英語及び韓国の文化を学ぶ事前学習として、立命館大学の韓国人留学生、大学院生とのディスカッションを行う。</p>	<p>本年度はコロナ禍の為中止</p>
	<p>六貫教育推進のなかで、ニュージーランド Upper Hutt College や Taita College において、生徒のみのテーマ学習と、ケーススタディとしてホームステイ先でのトラブル防止を主な目的として行い、探究を深める</p>	<p>本年度はコロナ禍の為中止</p>
	<p>イギリスの伝統的パブリックスクールである Harrow School への夏季語学留学を希望者対象に2週間実施し、同校出身のOxford大や Cambridge 大学の学生と交流を行う。</p>	<p>本年度はコロナ禍の為中止</p>

4 安全・安心で魅力のある学校づくりのための組織の確立		
中期計画	重点目標・取り組み内容	評価指数・自己評価
ア 保護者や関係機関との連携を強化するとともに、校内の教育相談体制を充実させる	カウンセラー配置によって、教員間との連携ができ、迅速かつ適切な指導ができる体制を確立する。	保護者の悩みへの対応は肯定評価が60%を切っているので、連携を深められるように改善を図る必要がある。
イ 保護者に対して積極的かつ効果的な広報活動を行う。	学校行事などをHPでも紹介し、学年だよりを充実させる。	保護者の HP への肯定評価は80%以上となっている。ただ、学年だより等をもっと発行して欲しいとの声も複数あるので、精査して取り組んでいきたい。
ウ 生徒理解の促進と、安心・安全な学校づくりのための体制の確立をめざす。	学校保健委員会・安全衛生委員会を定期的開催する。その中で産業医(学校医)との連携も強化する。いじめ対策委員会が中心となり、学校生活アンケート等をもとに生徒のケア体制を確立する。	学校生活アンケートは1学期、2学期にそれぞれ1度ずつ行い、教職員会議で分析し指導に活かしている。いじめの事象も対策委員会を即時開き解決に向けて方針を立てている。
エ 保護者、地域関係者に対する生徒による校内発表の場への参加呼びかけを拡大するなど地域との交流を図る。	警報等発令時に加え下校時刻の変更時の緊急メール配信(ミマメルメ)の迅速な配信をはかる。 より生徒の安全性を高めるため、救急救命講習会を2回実施する。	メール配信については頻繁に行っており、この項目のアンケートでもほぼ100%に近い肯定評価となっている。救急救命講習や地域との交流についてはコロナ禍の為実施できなかった。

5 教員の授業力の資質向上に向けた取り組み		
中期計画	重点目標・取り組み内容	評価指数・自己評価
ア 各教科で研究授業・研究協議を実施する。生徒による授業アンケートを行い、分析し、改善策を検討する。	授業アンケートを7月と12月に実施予定。結果を分析し、改善策を検討する。教科ごとに授業見学、さらに教科を越えて教員相互授業見学と研究協議を行い、授業改善を図る。更に、全体研修会を行う。	アンケートは予定通り実施。結果の分析についてはこれからの課題である。授業見学週間を設定し、研鑽を積んだ。
イ 年度の必要性に応じて、教員研修を複数回、人権研修・危機管理研修・教育相談研修を行う。	教員研修として、人権研修・危機管理研修・教育相談研修等を行う。 授業アンケート結果による教員研修を実施する。	セクハラ・パワハラ、熱中症対策(コロナ禍の為ビデオ視聴)、評価についての講演を行った。授業アンケート結果は個別に配布し、振り返りの提出を行っている。